



令和 2 年 9 月 2 日
内閣府（防災担当）

令和 2 年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者決定について

標記について、別添のとおり受賞者が決定しましたのでお知らせします。

なお、表彰式の日時等については、別途お知らせいたします。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和 57 年 5 月 11 日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 真弓、内野、前田

電話：03-3593-2844（直） FAX：03-3503-5690

令和2年 防災功労者 内閣総理大臣表彰 受賞者名簿

○ 個人

〔防災体制の整備〕

東京大学地震研究所教授

森田 裕一

(埼玉県)

名古屋掖済会病院副院長兼救命救急センター長

北川 喜己

(愛知県)

徳島大学教授・環境防災研究センター長

中野 晋

(徳島県)

静岡大学特任教授

岩田 孝仁

(静岡県)

長岡技術科学大学技術経営研究院准教授

木村 哲也

(新潟県)

理化学研究所研究管理職

三好 建正

(兵庫県)

山口大学教授

山本 晴彦

(山口県)

北海道大学名誉教授

丸谷 知己

(北海道)

〔防災思想の普及〕

北海道大学名誉教授

平川 一臣

(愛知県)

○ 団体

〔防災体制の整備〕

塩津区防災会

(和歌山県)

黒坂地区自主防災委員会

(鳥取県)

自主防災組織 ハンマーズ

(東京都)

足立区第18地区町会自治会連絡協議会

(東京都)

鶴見区市場西中町まちづくり協議会

(神奈川県)

広瀬館少年少女消防隊

(富山県)

〔防災思想の普及〕

弘前地区消防防災協会

(青森県)

女性防災クラブ平塚パワーズ

(神奈川県)

〔災害現場での顕著な防災活動〕

(災害全般)

公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会連合会

(東京都)

特定非営利法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

(東京都)

(平成31年1月堂平山における林野火災)

比企広域市町村圏組合ときがわ消防団

(埼玉県)

(令和元年8月の前線に伴う大雨)

武雄市消防団

(佐賀県)

多久市消防団

(佐賀県)

大町町消防団

(佐賀県)

第4師団災害派遣部隊及び同協同部隊・同支援部隊

(福岡県)

(令和元年房総半島台風)

君津市消防団

(千葉県)

第1師団災害派遣部隊及び同協同部隊・同支援部隊

(東京都)

(令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風等)

千葉県警察本部

(千葉県)

館山市消防団

(千葉県)

佐倉市消防団

(千葉県)

東金市消防団

(千葉県)

南房総市消防団

(千葉県)

千葉県赤十字防災ボランティア推進協議会

(千葉県)

国立研究開発法人建築研究所緊急災害対策派遣隊

(茨城県)

神崎町消防団

(千葉県)

(令和元年東日本台風)

普代村消防団

(岩手県)

砂防ボランティア岩手県協会

(岩手県)

久慈市消防団

(岩手県)

丸森町消防団

(宮城県)

大崎市消防団

(宮城県)

大郷町消防団

(宮城県)

本宮市消防団

(福島県)

矢祭町消防団

(福島県)

伊達市消防団

(福島県)

塙町消防団

(福島県)

福島市消防団

(福島県)

鏡石町消防団

(福島県)

郡山市消防団

(福島県)

大子町消防団

(茨城県)

常陸大宮市消防団

(茨城県)

常陸太田市消防団

(茨城県)

城里町消防団

(茨城県)

水戸市消防団

(茨城県)

境町消防団

(茨城県)

那珂市消防団

(茨城県)

栃木市消防団	(栃木県)
佐野市消防団	(栃木県)
鹿沼市消防団	(栃木県)
小山市消防団	(栃木県)
壬生町消防団	(栃木県)
富岡市消防団	(群馬県)
比企広域市町村圏組合東松山消防団	(埼玉県)
坂戸市水防団	(埼玉県)
調布市消防団	(東京都)
川崎市高津消防団	(神奈川県)
川崎市中原消防団	(神奈川県)
長野市消防団	(長野県)
中野市消防団	(長野県)
飯山市消防団	(長野県)
千曲市消防団	(長野県)
東御市消防団	(長野県)
佐久穂町消防団	(長野県)
川上村消防団	(長野県)
栄村消防団	(長野県)
上田市消防団	(長野県)
佐久市消防団	(長野県)
須坂市消防団	(長野県)
福島県警察本部	(福島県)
宮城県警察本部	(宮城県)
長野県警察本部	(長野県)
災統合任務部隊及び同支援部隊	(東京都)
(令和元年東日本台風等)	
内閣府沖縄総合事務局緊急災害対策派遣隊	(沖縄県)
(令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨)	
長生郡市広域市町村圏組合消防団	(千葉県)
(令和元年8月の前線に伴う大雨、令和元年東日本台風等)	
国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊	(茨城県)
(令和元年8月の前線に伴う大雨、令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風等)	
国土交通省緊急災害対策派遣隊	(東京都)
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所緊急災害対策派遣隊	(神奈川県)

以上 85件(9個人、76団体)

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	もりた ゆういち 森田 裕一
住 所	埼玉県さいたま市南区
職 業	東京大学地震研究所教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、火山研究の第一人者であり、観測火山学の分野において優れた成果を残し、最先端の研究・教育と地域の防災力向上に大きく貢献しているほか、防災行政へ有用な提言を行うなど、その活動は非常に幅広いものである。</p> <p>研究活動においては、地球物理学的な観測による地震活動と地殻変動の解析やマグマの移動現象の定量的な観測等、様々な火山現象の解明と火山噴火予測に関する研究を行っており、高い学術成果を挙げている。また、これに加え、文部科学省の次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトにおいて、「先端的な火山観測技術の開発」を事業責任者として携わる等、火山研究の推進に積極的に取り組んでいる。</p> <p>防災行政においても、中央防災会議防災対策実行会議「防災関連調査研究の戦略的推進ワーキンググループ」や内閣府「火山防災対策会議」委員、内閣府「火山防災に係る調査企画委員会」座長等を務め、防災関連調査研究の在り方や火山災害対策について、幅広い知見から数多くの有用な提言を行っている。また、「伊豆東部火山群火山防災協議会」に参画し、地域の火山防災推進にも大きく貢献している。</p> <p>以上のとおり、我が国の研究・防災行政における貢献度は絶大である。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	きたがわ よしみ 北川 喜己
住 所	愛知県名古屋市瑞穂区
職 業	名古屋掖済会病院副院長兼救命救急センター長
功 績 の 概 要	<p>氏は、平成24年12月から大規模災害時に愛知県内の災害医療調整を行う本部災害医療コーディネーターに就任し、平時から愛知県の災害医療体制の整備に積極的に貢献している。</p> <p>また、愛知県における災害医療や救急医療に関する各種協議会や委員会の委員を歴任しており、愛知県の災害医療体制の構築に向けた様々な助言を行ってきた。</p> <p>さらに、厚生労働省が主催するDMAT養成研修等、毎年数多くの研修で講師を務めているほか、平成30年5月からは中部ブロックDMAT連絡協議会会長に就任し、中部ブロック全体の日本DMAT隊の取りまとめ役となっている。</p> <p>また、平成30年6月からは東海北陸厚生局主催の南海トラフ地震対策中部圏戦略会議災害医療部会会長を務めるなど、国や愛知県を中心に開催される救急・災害医療に関する会議・研修会に積極的に協力し、多大な貢献をしている。</p> <p>これらに加え、大規模災害における活動としては、平成23年3月の東日本大震災、平成28年4月の熊本地震、令和元年10月の令和元年東日本台風において、DMAT統括者として医療救護活動等を指揮し、医療支援活動に従事している。</p> <p>このように、氏は、愛知県のみならず全国規模での救急・災害医療体制の構築に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	なかの すずむ 中野 晋
住 所	徳島県徳島市
職 業	徳島大学教授・環境防災研究センター長
功 績 の 概 要	<p>氏は、徳島大学教授として、「リスクマネジメント」、「地域防災学」及び「沿岸域工学」を専門に、先進的な研究や教育に取り組んでいるほか、徳島大学が総合的な防災研究や教育、普及啓発を行うために設立した「徳島大学環境防災研究センター」の運営に、設立当初から主体的に関わり、平成27年からはセンター長を担っている。</p> <p>また、発生が懸念される南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害に備え、防災・減災対策を講じていくことの必要性を強く提唱し、「徳島県国土強靱化地域計画及び徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画推進委員会」、「徳島県復興指針検討委員会」など、これまで多くの委員会等で中心的役割を担い、徳島県の防災・減災対策に係る各種計画等の策定に携わっている。さらに、平成31年4月には、県に対し、防災減災から復興に至るまでの幅広い施策について助言などを行う「徳島県防災減災・復興アドバイザー」にも委嘱された。</p> <p>そのほか、事業継続計画（BCP）の普及啓発や、地域の防災力向上に不可欠な「防災リーダー」の育成、市民と防災などをテーマに意見交換する「とくしま大学環境防災カフェ」の開催など、防災思想の普及、防災人材の育成でも、県内の第一人者として指導的な役割を果たしている。</p> <p>このように、氏は、津波災害に関連する沿岸域工学のスペシャリストであり、かつ、地域における防災において重要な「自助・共助・公助」全てのバランスを持ちながら、防災思想の普及や人材育成に積極的に取り組んでおり、徳島県の防災・減災体制の整備に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	文 部 科 学 省
ふ り が な 名 称	いわた たかよし 岩田 孝仁
住 所	静岡県静岡市駿河区
職 業	静岡大学特任教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、長年に渡り、内閣府・文部科学省・経済産業省などの設けた多数の地震・火山災害に関する防災対策の委員会等の委員を務め、防災学の分野を飛躍的に発展させるとともに、防災に関わる専門家の育成プログラムの作成に的確な助言を多数行っている。</p> <p>また、静岡県の危機管理業務に長年従事し、東海地震の想定域でありかつ富士山のある同県の地域防災力の強化に絶大な貢献を果たした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	文 部 科 学 省
ふ り が な 名 称	きむら てつや 木村 哲也
住 所	新潟県長岡市
職 業	長岡技術科学大学技術経営研究院准教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、災害対応ロボットの実用化を、想定外を想定し安全安心に推進するため、災害対応をテーマとしたロボット競技会による技術開発支援・人材育成、関連する標準化・安全規格化活動の推進と普及を中心に行ってきた。これらの活動に関連してこれまでに自治体消防制度60周年記念感謝状（消防庁長官）（平成20年）、長岡市長表彰（平成20年）、科学技術分野の文部科学大臣表彰（科学技術賞理解増進部門）（平成30年）を受賞している。</p> <p>また、その知見は福島ロボットテストフィールドを中心とした福島イノベーションコースト構想の推進に寄与している。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	文 部 科 学 省
ふ り が な 名 称	みよし たけまさ 三好 建正
住 所	兵庫県神戸市中央区
職 業	理化学研究所研究管理職
功 績 の 概 要	<p>氏は、近年増大するゲリラ豪雨に対し、スーパーコンピュータ「京」を生かした世界随一の先端研究に取り組み、かつてない30秒毎に更新する超高速気象予測を実現して、予測技術向上による防災思想の普及に多大な貢献をした。気象庁長期再解析推進委員会委員（平成26年～）、気象庁数値予報モデル開発懇談会委員（平成29年～）、日本気象学会評議員（平成29年～30年）等の委員活動の他、優れた研究に対して平成26年度地球惑星科学振興西田賞（平成27年5月）、平成28年度日本気象学会賞（平成28年5月）、平成30年度読売テクノ・フォーラム ゴールド・メダル賞（平成30年4月）などを受賞した。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	文 部 科 学 省
ふ り が な 名 称	やまもと はるひこ 山本 晴彦
住 所	山口県山口市
職 業	山口大学教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、一貫して「自らの命は自らが守る」意識を持った「防災意識社会」の構築を目標に、気象防災学の第一人者として被災地の現地調査及び解析を通じた防災研究活動の成果を社会へ還元し、国の防災施策の充実強化に貢献した。</p> <p>また、山口県の国土強靱化地域計画及び防災対策について専門家として貢献した他、防災士養成や自主防災組織の活動支援、次世代を担う児童・生徒への防災授業等に取り組み、山口県の防災力向上並びに県民及び自主防災組織等の防災意識啓発に永年にわたり貢献した。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	まるたに ともみ 丸谷 知己
住 所	北海道札幌市東区
職 業	北海道大学名誉教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、砂防学に多数の研究業績を上げてこられた。中でも、上流域から下流域まで含めた流域全体における土砂の流出プロセスや国内外の火山地域における火山特有の土砂移動現象について長期間にわたり調査・研究に携わり、多くの成果を発表された。そして、それらの知見は土砂災害を研究していく上で多くの研究者に示唆を与えるとともに、火山地域における土砂災害防止対策の検討に活用されている。</p> <p>特に、火山活動が活発な地域における、溪流の急激な地形変化に関する現地観測や地形学的・土砂水文学的解析に関する研究成果は、噴火後の土砂災害対策計画立案に必要なものとなる、土砂流出量の時間的変化予測における重要な知見となっており、氏はその知見を生かし、十勝岳、樽前山、雌阿寒岳等、多くの火山における砂防計画の検討委員会の委員長を務め、火山噴火緊急減災対策砂防計画等の策定に貢献している。</p> <p>国や地方自治体はこれらの計画に基づき、砂防事業の推進や必要な資機材の準備等を進めており、住民や観光客の安全・安心につながっている。</p> <p>学術関係では、砂防学会会長等の要職を歴任され、大規模災害発生時に緊急調査団を編成し、調査結果を踏まえた緊急提言を行うとともに、砂防学会英文誌の創設や国際的な研究発表会の共催等、国際的な土砂災害研究の発展に貢献している。</p> <p>さらに近年では砂防学の入門的教科書の編纂を行い、砂防学の門戸を開き次世代の砂防研究や砂防行政の担い手育成に精力的に取り組む等、その評価は極めて高い。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	ひらかわ かずおみ 平川 一臣
住 所	愛知県豊橋市
職 業	北海道大学名誉教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、長年にわたり市の防災行政に専門的な知見をふまえて助言を与えている。また、市民に対しても専門的視点から地域ハザードを分かりやすく説明し、「自分の命は自分で守る」ことの重要性を、積極的に啓発する活動を行っている。そして自治会、防災会などの住民と共に地域を歩き、発災時に役立つ防災マップの検討・作成を行っている。行政主催の防災講座などに率先して講師として参加し続けている。</p> <p>また、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」委員や、「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」委員をはじめ、国の防災会議等でも多大な助言を与えてきた。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	しおつくぼうさいかい 塩津区防災会
所 在 地	和歌山県海南市
代 表 者 (団体での職名)	会長 わきしよ たけお 脇所 武夫
功 績 の 概 要	<p>塩津区防災会は、平成15年12月に自主防災組織として結成され、現在まで16年間継続して防災活動を実施している。</p> <p>本団体は、自治会役員、漁業組合、水産加工組合、学校PTA等の地域の10団体等で構成されており、運営は防災役員会で検討し、自治会の隣保班の班長が防災会の各班長を兼務するなど、塩津区全体が一体となり行動するとともに、消防団、小学校、各地域団体等と連携し、「自分たちでできる事はすべてやる。」を合言葉に地域全体で力を合わせて防災活動を実施している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	くろさかちくじしゅぼうさいいんかい 黒坂地区自主防災委員会
所 在 地	鳥取県日野郡日野町
代 表 者 (団体での職名)	会長 わだ 佳洋
功 績 の 概 要	<p>黒坂地区は、平成12年10月6日に発生した「鳥取県西部地震」で震度6強を記録し、住民はライフラインの停止や避難所等での生活を体験した。従来からコミュニティ活動が活発な地区であったが、震災後、更に防災意識が高まり、平成14年9月に地区内17自治会を束ねる連合自治会の下に自主防災委員会が結成された。</p> <p>毎年行われる町の一斉防災訓練においては、震災の教訓を活かし、通信手段が絶たれた場合を想定した伝令による災害状況報告訓練を実施するなど、災害時に実際に起こりうる想定で、本部運営訓練、避難所開設訓練や負傷者救出訓練等の多種多様な訓練を実施しており、平成24年からは、地区内の高齢化を考慮し、災害時要支援者の避難誘導方法の検討、避難経路マップの作成や防災資機材の整備を重点的に行うなど、災害に備える取組を進めている。</p> <p>また、防災リーダーの養成にも力を入れ、毎年、研修会を開催しているほか、防災啓発活動として、地域の小学校等での震災の伝承や、防災に関する記事を掲載した独自の広報誌「防災くろさか」を、同会の結成以降、毎年発行し続けるなど、高い防災意識を継続し、地域防災力の向上に努め、地域の防災体制の整備に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	じしゅぼうさいそしきはんまーず 自主防災組織ハンマーズ
所 在 地	東京都墨田区
代 表 者 (団体での職名)	キャプテン <small>ふくい としひで</small> 福井 寿英
功 績 の 概 要	<p>自主防災組織ハンマーズは、会員相互が災害対応能力の重要性を深く認識し、大規模災害時等において、いかに迅速及び安全な救出活動ができるか、日々研究し防災訓練等で都民に寄与するとともに、防災に関する資質の向上を目的とした訓練を実施している。</p> <p>また、地域住民に対し、身近な工具を活用した防災訓練により、より分かりやすく実践的な指導を実践し、親しみのある内容で防災意識の高揚を図っている。</p> <p>さらに、地域にある学校の生徒に対し、生徒の理解度に応じた訓練により、楽しみながら学べる総合防災教育を実施し、次世代を担う行動力のある生徒を育成している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	あだちくだいじゅうはちくちょうかいじちかいれんらくきょうぎかい 足立区第18地区町会自治会連絡協議会
所 在 地	東京都足立区
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>はずみ</small> 羽住 <small>たかし</small> 奎
功 績 の 概 要	<p>足立区第18地区町会自治会連絡協議会は、協議会の下部組織として、「中川地区安全対策会議」を設立し、その中の作業部会にて地域の特性を反映させた「防災マニュアル」を作成し各町会・自治会員に配布した。さらに、防火防災部員がまち歩きを実施し、避難経路や危険箇所を実際に確認して「防災マップ」を作成し各町会・自治会員に配布をするなど、地域の防災力向上に努めてきた。「中川地区安全対策会議」の功績が認められ、東京都から「東京防災隣組」に認定された。</p> <p>平成27年9月に発生した関東・東北豪雨の際に、中川の水位が氾濫危険水位まで上昇したことを契機に、町会・自治会内の住民が自主的に「水害対策委員会」を結成し、専門家を招いて勉強会等を開始し、実際の水害発生時に備えて救命ボートや救命胴衣を整備するとともに、消防署及び消防団の指導のもとに小学校のプールを活用するなどして子供から大人まで住民参加による訓練を積極的に実施してきた。中川が氾濫し水害がおりうる状況下を想定した警戒レベル等における地域の水害行動計画（水害コミュニティ・タイムライン）の策定作り取り組んできた。</p> <p>平成29年度からは、足立区が委託する公益信託あだちまちづくりトラストの助成金を活用し、NPO法人環境防災総合政策研究機構から専門的なアドバイスを得ながら、第18地区全体版の水害コミュニティ・タイムラインを策定した。なお、「水害対策委員会」では、区、消防及び警察からアドバイスを受けており、足立消防署は要配慮者の防災対策や水難救助隊による救命ボート取扱い訓練の指導等で協力している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	つるみくいちばにしなちちょうまちづくりきょうぎかい 鶴見区市場西中町まちづくり協議会
所 在 地	神奈川県横浜市鶴見区
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>もりた ひろし</small> 森田 洋司
功 績 の 概 要	<p>鶴見区市場西中町まちづくり協議会は、平成15年に「防災上課題のある密集住宅市街地」として、横浜市から選定されたことをきっかけに防災まちづくりの取組を始めた。地域が一体となり、粘り強く地権者や関係機関へ働きかけることで、道路拡幅を実現、防災設備を備えた公園の整備や「通り名プレート」の設置等、多くの成果をあげている。</p> <p>また、ハード整備のみならず、定期的な防災訓練や備蓄、広報活動として「まちづくりニュース」を毎年3回発行するほか、「まちづくり川柳」の募集を行うなど、住民の意識向上も実現している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ひろせたちしょうねんしょうじょしょうぼうたい 広瀬館少年少女消防隊
所 在 地	富山県南砺市
代 表 者 (団体での職名)	団長 よしの たけのり 吉野 武範
功 績 の 概 要	<p>広瀬館少年少女消防隊は、毎月第2、第4土曜日の朝、広瀬館の消防屯所に集まり地区内を巡回する。赤字に白で「火の用心」と染め抜かれた旗を先頭に「拍子木」や「振り鈴」を鳴らして、「火の用心」の歌をうたいながら防火を呼び掛けている。隊員は地区内の小学1年生から6年生であり、入学時から6年間継続して防火活動に励む。</p> <p>特に巡回活動は、90年以上という長い年月の間、親から子へ、子から孫へと受け継がれてきた。</p> <p>さらに近年、一人暮らしの高齢者住宅に「火の用心」と刷られたビラを配布し、安否確認等、防火活動以外の見守り活動を行っている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	ひろさきちくしょうぼうぼうさいきょうかい 弘前地区消防防災協会
所 在 地	青森県弘前市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>ふじた かずみ</small> 藤田 和美
功 績 の 概 要	<p>弘前地区消防防災協会は、加入事業所の自主防災力強化のみならず、地域住民の防災意識を高め、生活の基盤である安心・安全を確保するための事業を展開している。</p> <p>協会創立50周年の節目にあたる平成30年に、防火防災啓発資機材として消火体験装置2基を弘前地区消防事務組合に寄贈し、消火訓練の内容を充実させることで地域の自主防災力の向上に大きく貢献した。</p> <p>令和元年には、同消防事務組合に対して住宅用火災警報器の寄贈も行い、管内の独り暮らしのお年寄り等に配布された。</p> <p>また、昭和61年から継続している幼保育園、小学校対象の防火作品（図画、ポスター）の募集により幼少期からの防火防災に対する意識付けを行うとともに、入賞作品の絵柄で防火ポスター、ポケットティッシュを作成、配布して火災予防啓発活動に力を入れている。</p> <p>さらには、加入事業所の自衛消防隊の育成強化、消火技術の向上を目的として自衛消防技術大会を平成16年から毎年実施している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	じょせいぼうさいくらぶひらつかばわーず 女性防災クラブ平塚パワーズ
所 在 地	神奈川県平塚市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>すがの</small> 菅野 <small>ゆみこ</small> 由美子
功 績 の 概 要	<p>女性防災クラブ平塚パワーズは、女性の視点に立ち防災に関する知識、技術の向上を目的に結成された団体で、市内に留まらず県内外の防災訓練やイベントに講師として招かれ、様々な防災啓発を行っている。また、JICAの依頼を受け、諸外国の方々に向けた防災講座の講師も務めている。</p> <p>アイデアを駆使した実用的な防災啓発として、身近なものを使った防災グッズや非常食づくり、バンダナやタオルを使った応急手当、生活に役立つロープワーク、風水害時の警戒レベルに合わせた避難時の服装と避難方法の演劇型展示、子供向けの防災ゲーム等を数多く行っている。令和元年度は約6,000人（平成29年度と30年度は、それぞれ約5,000人）に対して啓発を行った。</p> <p>また、指導者育成にも力を入れ、他市町の防災団体立ち上げや防災啓発冊子作成のサポート等も行っている。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	こうえきしゃだんほうじんぜんこくちんたいじゅうたくけいえいしゃきょうかいいんごうかい 公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会連合会
所 在 地	東京都千代田区
代 表 者 (団体での職名)	会長 みよし おむ 三好 修
功 績 の 概 要	<p>全国賃貸住宅経営者協会連合会は、長年に亘り災害が発生し、災害救助法が適用された被災自治体に赴き、被災者の仮の住まい（賃貸型応急住宅）の確保に必要な借上対象住宅の戸数、対象住宅のリスト提供、借上要件等（家賃相場データ等の提供・助言）、借上に必要な関係書類の決定、相談窓口等への対応を行うとともに、被災地域の関係団体、家主、仲介業者への説明等を行い、被災者への賃貸型応急住宅の円滑かつ迅速な供与に尽力されている。</p> <p>また、同連合会では、平時から全ての都道府県及び救助実施市と「災害時における賃貸型応急住宅の供与に関する協定」を締結し、併せて自治体向けの災害時の住まいの確保に関する手順をすごろく形式にした周知資料を作成するなど、災害時における被災者の住まいの確保に関する貢献は多大であると言える。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	とくていひえいりほうじんぜんこくさいがいぼらんていあしえんだんたいねっとわーく 特定非営利法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
所 在 地	東京都千代田区
代 表 者 (団体での職名)	代表理事 <small>くりた のぶゆき</small> 栗田 暢之
功 績 の 概 要	<p>全国災害ボランティア支援団体ネットワークは、災害時のNPO・ボランティア等、異なる組織の調整や活動支援を行う唯一の全国域の中間支援組織であり、水害、地震等大規模災害時には、行政との調整、NPO等ボランティア団体や企業との支援調整を実施するなど、災害時の防災活動に多大な貢献を果たしている。</p> <p>また、平時においても、被災者支援（ボランティア）団体のネットワークづくりや被災者支援団体の支援能力の向上、各地での民間と行政の被災者支援活動の調整・協働に尽力するなど、我が国の被災者支援活動の円滑化に多大な貢献を果たしている。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ひきこういきしちょうそんけんくみあいとかがわしょうぼうだん 比企広域市町村圏組合とかがわ消防団
所 在 地	埼玉県比企郡とかがわ町
代 表 者 (団体での職名)	団長 おざわ しんきち 小澤 伸吉
功 績 の 概 要	<p>とかがわ消防団は、平成31年1月23日から1月26日の4日間にわたり発生した大規模な林野火災に際し、1月23日から1月24日の2日間で延べ153名が出動し、昼夜にわたり中継送水活動及びジェットシューター隊を編成した消火活動を展開し、林野火災の延焼を最小限に阻止した。</p> <p>常備消防機関との協力体制をはじめ、効果的な消火活動の展開、被害の軽減など、地域住民の安全安心のために尽力した功績は誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	たけおししょうぼうだん 武雄市消防団
所 在 地	佐賀県武雄市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>こいけ まこと</small> 小池 誠
功 績 の 概 要	<p>武雄市消防団は、令和元年8月の前線に伴う大雨に際し、3日間にわたり、延べ1,095名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり舟艇等による救助活動、食料の配布活動・住民の避難誘導を行い、水害等による被害を最小限に防いだ。</p> <p>この他、河川警戒巡視・道路パトロールによる通行止め対応（迂回指示）・土砂災害現場での応急対応（シート・土のう積み）等の水防活動を行い、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	たくししょうぼうだん 多久市消防団
所 在 地	佐賀県多久市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>じんのうち</small> 陣内 <small>しげかず</small> 成和
功 績 の 概 要	<p>多久市消防団は、令和元年8月の前線に伴う大雨に際し、7日間にわたり、延べ505名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり警戒巡視、通行止め対応、住民の避難誘導及び安否確認等を行い、水害等による被害を最小限に防いだ。</p> <p>この他、内水排除及び土砂災害現場での応急対応（ブルーシート・土のう設置）等の水防活動を行い、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>さらには、被災後に災害廃棄物仮置き場にて受付及び運搬作業等を行い、災害復旧活動に大いに貢献した。</p> <p>ドローン隊については、災害後の現場確認及び状況把握に大いに貢献した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	おおまちちょうしょうぼうだん 大町町消防団
所 在 地	佐賀県杵島郡大町町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>かめがわ</small> 亀川 <small>よしと</small> 義人
功 績 の 概 要	<p>大町町消防団は、令和元年8月の前線に伴う大雨に際し、15日間にわたり、延べ284名が出動し、町南部を中心とした大規模な浸水害に加えて鉄工所からの油流失、ボタ山の一部崩落、町内各所での土砂災害などかつて経験したことがないような災害に見舞われる状況の中、昼夜にわたり町内（河川）巡視を行い、積み土のう工により油流失の拡大阻止を図った。</p> <p>また、ボート等を使用して、町民の避難誘導等の水防活動を行い、一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>なお、ボタ山崩落の被害拡大の危険性が高まった際は、ボタ山周辺地区の各戸訪問を行い、避難所への完全避難を成功させた。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	防 衛 省
ふ り が な 名 称	だいよんしだんさいがいはけんぶたいおよびどうきょうどうぶたい・どうしえんぶたい 第4師団災害派遣部隊及び同協同部隊・同支援部隊
所 在 地	福岡県春日市
代 表 者 (団体での職名)	第4師団長 陸将 <small>すえよし ひろあき</small> 末吉 洋明
功 績 の 概 要	<p>同災害派遣部隊等の災害派遣は、令和元年8月の前線に伴う大雨に際し、8月28日佐賀県知事からの災害派遣要請から始まり、10月7日の撤収要請までの間、孤立住民の救助・救出、流出油の除去支援、病院医療スタッフ等の輸送支援、災害廃棄物撤去支援、防疫活動、給水・炊事支援、入浴支援、救援物資の輸送支援、慰問演奏等、多様な任務を24時間態勢で41日間継続した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	きみつししょうぼうだん 君津市消防団
所 在 地	千葉県君津市
代 表 者 (団体での職名)	団長 こばら ゆきはる 小原 幸春
功 績 の 概 要	<p>君津市消防団は、令和元年房総半島台風に際し、多くの家屋被害と倒木、土砂崩落のほか、停電が最大約37,700世帯、断水が最大約13,000世帯の生活に影響を及ぼし、市全域に甚大な被害をもたらした状況のなか、延べ1,230人を動員し、災害発生の初期から停電復旧までの延べ15日間におたり、断水地区での火災対応のほか、災害時要支援者への避難の呼びかけ、安否確認、災害関連情報の広報活動、警戒活動を積極的に実施した功績は多大である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	防 衛 省
ふ り が な 名 称	だいいちしだんさいがいはけんぶたいおよびどうきょうどうぶたい・どうしえんぶたい 第1師団災害派遣部隊及び同協同部隊・同支援部隊
所 在 地	東京都練馬区
代 表 者 (団体での職名)	第1師団長 陸将 <small>おおば ひであき</small> 大庭 秀昭
功 績 の 概 要	<p>同災害派遣部隊等の災害派遣は、令和元年房総半島台風に際し、令和元年9月10日千葉県知事からの災害派遣要請から始まり、11月5日の撤収要請までの間、一般住民及び病院に対する給水支援、入浴支援、患者空輸、被災家屋に関するブルーシートの展張支援、救援物資の輸送及び停電復旧のための倒木・土砂の除去等、多様な任務を24時間態勢で57日間継続して活動した。</p> <p>特に千葉県における被害は甚大であり、早急に電力を復旧しなければならぬ状況となり、ノウハウに乏しい電柱・電線等に架かった倒木等の除去、高所作業等、危険な状況での活動となった。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	警 察 庁
ふ り が な 名 称	ちばけんけいさつほんぶ 千葉県警察本部
所 在 地	千葉県千葉市中央区
代 表 者 (団体での職名)	警察本部長 <small>くすのき</small> 楠 <small>よしのが</small> 芳伸
功 績 の 概 要	<p>千葉県警察は、令和元年房総半島台風に伴う災害に際し、本部長を長とする災害警備本部（本部長以下約3,800人体制）を設置し、令和元年東日本台風及び低気圧等による大雨（10月24日から26日）まで継続的に対応した。</p> <p>また、情報収集、被災住民の避難誘導、行方不明者の捜索活動、信号機滅灯対策等を長期間にわたり実施するとともに、救出救助活動により、冠水した車両等から約110人を救助し、人的被害の拡大を防止した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	たてやまししょうぼうだん 館山市消防団
所 在 地	千葉県館山市
代 表 者 (団体での職名)	団長 よしの たかし 吉野 隆志
功 績 の 概 要	<p>館山市消防団は、令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風及び令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、9月8日から11月10日まで、令和元年房総半島台風接近中の市内巡回から始まり、市内小中学校高架水槽への補水、被災した高齢者への声掛け見守りや炊き出し、被災家屋調査、市民ボランティア約900人と協働での災害ごみ回収、令和元年東日本台風接近時の避難広報及び避難所対応、低気圧等による大雨時の市内巡回、建設協力会と協働での海岸の災害ごみと自然公園内の倒木撤去を実施した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な、 名 称	さくらししょうぼうだん 佐倉市消防団
所 在 地	千葉県佐倉市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>さいとう たつや</small> 齋藤 達弥
功 績 の 概 要	<p>佐倉市消防団は、令和元年房総半島台風に際し、市内各所で倒木や飛散物、停電が発生し、市民生活に大きな影響を与えたことを受け数日間に渡り、延べ281名が出動し、倒木の撤去を始め、飛散物の撤去、給水活動、管轄区域の巡視を実施した。また、消防団の器具庫も屋根や外壁が飛散するなどをし、器具庫の応急手当にもあたった。</p> <p>令和元年東日本台風に際し、延べ759名が出動し、避難を呼びかける広報を実施し、管轄区域の巡視も併せて実施した。台風が過ぎ去った後では、管轄区域の巡視を行うとともに、倒木や飛散物の撤去を実施した。</p> <p>令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、佐倉市に流れる高崎川及び鹿島川が越水し、道路や住宅に水が流入。それを受け3日間にわたり、延べ644名が出動し、広報活動を始め、道路に溜まった水の排水作業を行い、被害を最小限に防いだ。また、道路冠水による通行止めを国土交通省のTEC-FORCEと協力し、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	とうがねししょうぼうだん 東金市消防団
所 在 地	千葉県東金市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>うえまつ</small> 植松 <small>かずお</small> 一夫
功 績 の 概 要	<p>東金市消防団は、令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風及び令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、団本部および全分団全班が出動し、延べ人員1,341人の消防団員が活動した。</p> <p>台風接近における市内全域の警邏・広報活動、台風通過後の倒木等の処理、被害家屋の把握、停電により市内全域が断水となったための給水活動、停電復旧地域における未復旧家屋の把握およびその場合の住民の安否確認、法面崩壊箇所の応急処置など、多岐にわたる活動を行った。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	みなみぼうそうししょうぼうだん 南房総市消防団
所 在 地	千葉県南房総市
代 表 者 (団体での職名)	団長 きむら よういち 木村 庸一
功 績 の 概 要	<p>南房総市消防団は、令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風及び令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、延べ5,065人を超える人員が活躍した。</p> <p>団員自らが被災している中で、多岐にわたり、分団の管轄や消防団の活動の枠を超えて団員が一丸となって、避難広報及び誘導、水防活動、警戒活動、土砂対応、住民の安否確認、要配慮者宅の見回り、瓦礫の撤去、瓦礫仮置き場までの運搬等、2か月を超える長期的な活動を行った。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	厚 生 労 働 省
ふ り が な 名 称	ちばけんせきじゅうじぼうさいほらんていあすいしんきょうぎかい 千葉県赤十字防災ボランティア推進協議会
所 在 地	千葉県千葉市中央区
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>しみず しげひこ</small> 清水 重彦
功 績 の 概 要	<p>同協議会は、平成19年の設立以来、各地域における防災思想の普及及び防災体制の強化のために、県内を7つのブロックに分け、そのブロック単位で防災ボランティアが主体的に活動を継続している。</p> <p>令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風及び令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、9月11日から11月30日の長期にわたり、延べ684名が、各種団体と協働して県災害ボランティアセンターや現地災害ボランティアセンターの運営および災害ボランティア活動（被災家屋の清掃、瓦礫撤去等）を行い、被災地の応急復旧に貢献した。</p> <p>同協議会の平時の活動としては、千葉県災害ボランティアセンター連絡会（千葉県社会福祉協議会等17団体）の構成団体として、県内の災害ボランティアに携わる県単位の各種団体と連携強化を図るとともに、自助・共助の意識啓発のため、防災減災の講義、炊き出しや救急法を取り入れた一般住民を対象とした研修会を開催して、災害時に活動するボランティアの養成、及び防災意識の普及にも尽力している（登録者数544名）。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こくりつけんきゅうかいほつほうじんけんちくけんきゅうじよきんきゅうさいがいたいさくはけんたい 国立研究開発法人建築研究所緊急災害対策派遣隊
所 在 地	茨城県つくば市
代 表 者 (団体での職名)	隊長 おくだ やすお なかしま しういち 奥田 泰雄、中島 昌一
功 績 の 概 要	<p>国立研究開発法人建築研究所緊急災害対策派遣隊は、令和元年房総半島台風に際し、建築物を中心とした被害状況を把握し必要な対策等に活かすため、国土技術政策総合研究所と合同で高度な知見を有する専門家を派遣し、市原市役所での窓ガラス等の被害状況と発災後の応急対応状況および千葉県内の内房地域、東京都内の島嶼部を対象に、それぞれ木造建築物や低層の店舗等を中心に被害状況の調査を行った。</p> <p>令和元年東日本台風及び令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、東日本台風の接近に伴い発生した千葉県市原市の畜巻について建築物を中心とした被害状況を把握し必要な対策等に活かすため、国土技術政策総合研究所と合同で高度な知見を有する専門家を派遣し、木造住宅や公共建築物の被害状況について調査を実施した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こうざきまちしょうぼうだん 神崎町消防団
所 在 地	千葉県香取郡神崎町
代 表 者 (団体での職名)	団長 えんどう えいじ 遠藤 栄治
功 績 の 概 要	<p>神崎町消防団は、令和元年房総半島台風に際し4日間56名、令和元年東日本台風の際に2日間225名、10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し1日間9名の計7日間にわたって、延べ290名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり、河川や内水、土砂災害警戒地域の巡視を行い、利根川に水位が増加した13日は月の輪工法により、湧水・漏水等による被害を未然に防いだ。</p> <p>また、越水が想定される地区に対して、住民の避難誘導、巡視活動等、人命にかかわる水防活動を行い、一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ふだいむらしょうぼうだん 普代村消防団
所 在 地	岩手県下閉伊郡普代村
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>みふね たかひさ</small> 三船 隆久
功 績 の 概 要	<p>普代村消防団は、令和元年東日本台風に際し、延べ7日間にわたり、延べ332名が出動した。</p> <p>岩手県に初めて大雨特別警報が発表され、最大1時間降水量95mm、最大24時間降水量437mmの状況下で、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、孤立住民の救出活動を行い、人的被害を出さず、平素の防災活動とあいまって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	さぼうぼらんていあいわてけんきょうかい 砂防ボランティア岩手県協会
所 在 地	岩手県盛岡市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>のなか</small> 野中 聡
功 績 の 概 要	<p>同協会は、平成9年から23年間にわたり、毎年6月の土砂災害防止月間の期間中に県や市町村職員、地域住民と協働して土砂災害危険箇所や砂防施設の点検を実施するとともに、平成20年岩手宮城内陸地震、平成23年東日本大震災津波、平成28年台風第10号等の災害時に緊急点検を実施するなど、土砂災害防止に尽力した。</p> <p>特に、令和元年東日本台風に際し、岩手県からの緊急の要請を受け、10月21日から11月5日の16日間にかけて、延べ40名が出動し、急峻な地形や流出土砂などにより現地の確認が困難な状況下において、111箇所の緊急点検を実施した。これらの点検結果は、速やかな土砂災害の発生状況や二次的な土砂災害の危険性把握や応急対応、及び市町村の警戒避難体制の構築に役立てられ、地域住民の生命及び身体の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	くじししょうぼうだん 久慈市消防団
所 在 地	岩手県久慈市
代 表 者 (団体での職名)	団長 ひろさき こういち 廣崎 康一
功 績 の 概 要	<p>久慈市消防団は、令和元年東日本台風に際し、台風接近の前日を含む5日間にわたり、団本部及び全分団延べ1,488名が出動し、河川巡視等を行うとともに、災害発生の可能性が極めて高い危険な状況の中、昼夜を問わず市民の避難誘導や避難広報、河川の水門閉鎖や排水作業などの水防活動を行い、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	まるもりまちしょうぼうだん 丸森町消防団
所 在 地	宮城県伊具郡丸森町
代 表 者 (団体での職名)	団長 むかい ゆうじ 向井 裕壽
功 績 の 概 要	<p>丸森町消防団は、令和元年東日本台風に際し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり排水作業を行うとともに、水防工法により越水等による被害を未然に防いだ。35日間にわたり延べ1,724名が出動し、孤立した50世帯97名の住民をゴムボートで救出するとともに、1万袋以上の土嚢積みを行った。</p> <p>併せて、住民の避難誘導、人命救助活動等の水防活動を行い、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	おおさきししょうぼうだん 大崎市消防団
所 在 地	宮城県大崎市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>すがわら</small> 董 悦
功 績 の 概 要	<p>大崎市消防団は、令和元年東日本台風に際し、延べ1,352名の団員が出動した。市内鹿島台地域では3時間雨量129.0mm/hを超える豪雨により河川が増水、各地で堤防破堤や越水により、床上浸水などの被害を受ける危険な状況の中、河川等の巡視、避難誘導、交通整理、内水排水作業や各種水防工法を用いた水防活動を適確に行い、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	おおさとちょうしょうぼうだん 大郷町消防団
所 在 地	宮城県黒川郡大郷町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>すずき やすのり</small> 鈴木 安則
功 績 の 概 要	<p>大郷町消防団は、令和元年東日本台風に際し、4日間にわたり、延べ692名が出動した。台風が最も宮城県に接近する前の12日午後より、吉田川沿いの住民の避難誘導を開始し、その後も豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行った。</p> <p>また、内水により孤立した住民や、吉田川の堤防決壊により取り残された住民の救助活動を消防署等と連携し行い、堤防決壊という未曾有の大災害でありながら、一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	もとみやししょうぼうだん 本宮市消防団
所 在 地	福島県本宮市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>わたなべ</small> 渡辺 <small>あきひろ</small> 明弘
功 績 の 概 要	<p>本宮市消防団は、令和元年10月12日から13日にかけて内水氾濫や土砂災害、阿武隈川の越水、安達太良川の堤防決壊など、本市に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風に際し、発災前から河川巡視や内水排除作業、河川流域の住民への避難呼びかけなどの水防活動を実施した。</p> <p>また、発災後は、通行止め箇所の交通誘導や冠水地区の清掃、堆積土砂の撤去を行うなど、発災から17日間で延べ1,355人が災害対応及び復旧活動にあたり、本市の早期復旧に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	やまつりまちしょうぼうだん 矢祭町消防団
所 在 地	福島県東白川郡矢祭町
代 表 者 (団体での職名)	団長 ひやま としお 檜山 利男
功 績 の 概 要	<p>矢祭町消防団は、令和元年東日本台風に際し、久慈川をはじめとする各河川の溢水及び内水氾濫により国道118号、県道矢祭山・八槻線、各町道等及び農地が広範囲にわたって冠水、久慈川に架かる橋が落橋し孤立集落が発生、多くの住宅が浸水や土砂流入等の被害を受けたことから、人命救助のため、町内各地において河川や住宅敷地に土嚢積みを実施、冠水した道路での交通整理及び立ち往生した者を避難所まで誘導したほか、避難勧告を発令した地区住民を中心に避難を呼びかけるとともに、交通手段を持たない高齢者を消防自動車により避難所まで輸送、道路が冠水したため家から身動きが取れない者には団員が付き添い山を越えて避難所まで誘導、久慈川の堤防脇に位置する介護保険施設(特別養護老人ホーム)の入居者避難支援等の活動を実施した。</p> <p>台風通過後は、孤立集落の断水に対して飲料水等の搬入、車両が進入不可のため火災に備えて小型動力ポンプを孤立集落に人力で搬入するとともに防火について改めて広報、また、各道路に残された土砂が車両の通行とともに舞い上がり、粉塵による健康被害を危惧する住民が多かったことから土砂撤去等を実施した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	だてししょうぼうだん 伊達市消防団
所 在 地	福島県伊達市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>たかはし</small> 高橋 <small>さだお</small> 貞雄
功 績 の 概 要	<p>伊達市消防団は、令和元年東日本台風に際し、13日、14日の2日間にわたり、延べ2,044名が出動し、水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、人命救助活動を行い、一人として人的被害を出さず、平素の防災意識の高揚活動とあいまって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>被害発生前から管内危険箇所の巡回や避難誘導を実施した。高齢者のみの世帯や体が不自由な方がいる世帯など、避難所への移動が困難な世帯には垂直誘導を強く促す等、人命第一の活動を長時間実施した。</p> <p>また、10月12日から14日の3日間、浸水被害が特に大きかった梁川地区で伊達市消防団保有のポンプ車を総動員し、内水排除活動を実施した。さらに、常備消防、自衛隊と連携し、ボートによる孤立者救助活動を実施し、277名を無事救助した。</p>

功 績 概 要

団体【災害時の防災活動】

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	はなわまちしょうぼうだん 塙町消防団
所 在 地	福島県東白川郡塙町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>きだ ひろあき</small> 木田 廣明
功 績 の 概 要	<p>塙町消防団は、令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ546名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、人命救助活動を行い、一人として人的被害を出さず、平素の防災意識の高揚活動とあいまって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>また台風通過後においても、被災ゴミの撤去・運搬等を行い、改めて町民から信頼され、安心できる組織として活動することができた。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ふくしまししょうぼうだん 福島市消防団
所 在 地	福島県福島市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>さいとう ちやうざぶろう</small> 斎藤 長三郎
功 績 の 概 要	<p>福島市消防団は、令和元年東日本台風に際し、被害発生前に自主避難広報、高齢者等の避難準備広報、災害発生前の避難広報を実施したことにより、深夜の災害発生にもかかわらず、住民に死者を出すことなく有効な避難広報活動を実施した。</p> <p>また、深夜の河川決壊により水平避難できなかった住民が、垂直避難をしており、取り残された住民を翌13日に常備消防と協力しゴムボートにより救助活動を実施した功績は誠に大きい。</p> <p>さらに、避難準備広報、避難広報、土のう積み(3,410袋)、避難誘導、避難所運営支援、交通誘導、救助、パトロール、落石・土砂等除去、排水作業を実施しており、被害軽減に大きく貢献した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	かがみいしまちしょうぼうだん 鏡石町消防団
所 在 地	福島県岩瀬郡鏡石町
代 表 者 (団体での職名)	団長 いなた こうきち 稲田 幸吉
功 績 の 概 要	<p>鏡石町消防団は、令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり、延べ171名が出動し、豪雨が降り続く状況の中、昼夜にわたり河川巡視を行い、水位や堤防の状況を災害対策本部と地域に対し情報提供することで住民の安全確保に貢献。河川の氾濫についても一早く把握し、住民の避難誘導と人命救助活動等の水防活動を行い、一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こおりやまししょうぼうだん 郡山市消防団
所 在 地	福島県郡山市
代 表 者 (団体での職名)	団長 わたなべ しやういち 渡邊 昭一
功 績 の 概 要	<p>郡山市消防団は、令和元年東日本台風に際し、団長の指揮の下、市内全域で12日から14日までの3日間にわたり延べ2,456名の消防団員が出動し、災害対応にあたった。</p> <p>12日早朝から13日未明にかけて大雨が断続的に降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視、危険箇所の安全確保のため交通規制等を継続して行い、浸水による被害を最小限に食い止めた。郡山市を流れる各河川においては堤防が4箇所決壊、また、市内の中心部を流れる阿武隈川においては堤防の高さを越える越水が発生し水位が急激に上昇したため、自宅で待避した要救助者が多数発生し、消防・警察・自衛隊も人命確保に追われていた。</p> <p>このような中、消防団員は一人でも多くの住民の生命、身体及び財産を守るため、不眠不休で懸命に住民の避難誘導、ボート等による人命救助活動を行い、同消防団が約150名もの住民を救出したことは多大なる功績である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	だ い ご ま ち し ょ う ぼ う だ ん 大 子 町 消 防 団
所 在 地	茨 城 県 久 慈 郡 大 子 町
代 表 者 (団 体 で の 職 名)	団 長 藤 田 稔 <small>ふじた のる</small>
功 績 の 概 要	<p>大子町消防団は、令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ1,082名が出動し、豪雨が降り続き河川が著しく増水し氾濫するという極めて困難な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、人命救助活動を行い懸命に町民の命を守るため犠牲的精神のもと活動したことは、平素の水防意識の高揚と消防精神で、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ひたちおおみやししょうぼうだん 常陸大宮市消防団
所 在 地	茨城県常陸大宮市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>おかやま</small> 岡山 <small>かつひこ</small> 勝彦
功 績 の 概 要	<p>常陸大宮市消防団は、令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり、延べ1,600名が出動し、豪雨が降り続く状況下、昼夜にわたり河川巡視を行い、冠水を未然に防ぐため、積み土のう水防工法を実施した。</p> <p>また、樋管操作後の内水冠水を未然に防ぐため、災害協定に基づき委託した地元建設者とともに大型排水ポンプを設置した。</p> <p>その他、避難勧告発令後、市内避難行動要支援者宅へ訪問し避難の呼びかけ及び避難所までの搬送、市民の避難誘導、人命救助活動等の水防活動を実施。平素の水防意識の高揚と相まって被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ひたちおおたししょうぼうだん 常陸太田市消防団
所 在 地	茨城県常陸太田市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>おおはた</small> <small>くにゆき</small> 大 畠 邦 幸
功 績 の 概 要	<p>常陸太田市消防団は、令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり延べ738名が出動し、豪雨で増水し危険を伴う河川の警戒巡視水門操作を行い、住民が情報を得にくい夜間において、いち早く河川の越水等を発見し未避難の住民に対して積極的な避難誘導活動を実施し人命被害を未然に防止した。</p> <p>特に、13日未明に発生した久慈川の堤防決壊による常陸太田市金砂郷地区への浸水被害では、浸水地域の家屋について安否確認を実施し、住民の避難誘導、徒手による救助、浸水により避難ができず孤立した家屋からのボート等を使用した救助活動を実施し、結果として人的被害を発生させなかったことは、浸水被害が発生した時間（夜間から未明）を考えると非常に大きな貢献があった。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	しろさとまちしょうぼうだん 城里町消防団
所 在 地	茨城県東茨城郡城里町
代 表 者 (団体での職名)	団長 もりた こうじ 森田 宏二
功 績 の 概 要	<p>城里町消防団は、令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ519名が出動し、暴風が吹き、河川水位の上昇により氾濫の危険性が高まる状況の下、深夜帯で作業が困難な状況の中、危険箇所への積み土のうを行った。</p> <p>また、河川の氾濫前は懸命に住民への避難を呼びかけ、氾濫後は、人命救助活動等の水防活動を行い、一人も人的被害を出さず、日頃の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	みとししょうぼうだん 水戸市消防団
所 在 地	茨城県水戸市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>わたなが</small> 渡長 <small>かつお</small> 勝男
功 績 の 概 要	<p>水戸市消防団は、令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ453名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視や避難広報活動を行い、長手積み工等の水防工法により多くの住宅への浸水による被害を未然に防いだ。</p> <p>この他、住民の避難誘導等を行い、一人として死者、行方不明者を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体：[災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	さかいまちしょうぼうだん 境町消防団
所 在 地	茨城県猿島郡境町
代 表 者 (団体での職名)	団長 かとう まきのり 加藤 正則
功 績 の 概 要	<p>境町消防団は、令和元年東日本台風に際し、延べ129名の消防団員が出動し、昼夜にわたり、河川の巡視、住民への広域避難の呼びかけを実施した。</p> <p>この他、内水により浸水した地域の住民をボート等で人命救助活動を実施し、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	なかししょうぼうだん 那珂市消防団
所 在 地	茨城県那珂市
代 表 者 (団体での職名)	団長 すみや けいじ 住谷 啓二
功 績 の 概 要	<p>那珂市消防団は、令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ107名が出動し、暴風が吹く状況の下、夜間浸水指定地域の高台、避難所への誘導、床下浸水家屋への土嚢積増水河川の警戒・管内巡回、水門操作、逃げ遅れ者を消防署員と共に人命救助、倒木撤去等の活動を行い一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	とちぎししょうぼうだん 栃木市消防団
所 在 地	栃木県栃木市
代 表 者 (団体での職名)	団長 おおまめうだ たかし 大豆生田 隆
功 績 の 概 要	<p>栃木市消防団は、令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり、延べ1,803名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり積土のうや避難広報活動、更には人命救助活動等を行い、人的被害を最小限に止め、平素の防災意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	さのししょうぼうだん 佐野市消防団
所 在 地	栃木県佐野市
代 表 者 (団体での職名)	団長 谷 和文 たに かずふみ
功 績 の 概 要	<p>佐野市消防団は、令和元年東日本台風に際し、佐野市の広範囲で河川の決壊・越水等による被害や土砂崩れが続発するという極めて困難な状況のもと、発災後の3日間で計138件、延べ1,274人の団員が昼夜を問わず出動し、積み土のうや木流しなどの水防活動のほか、地域住民の安否確認・避難誘導、土砂撤去等の活動を行い、結果一人として死者が発生することなく被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>これは日頃から住民との関わりを大切にし、地域防災の普及啓発活動を消防団が積極的に推進してきた成果でもあり、その功績は非常に大きい。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	かぬまししょうぼうだん 鹿沼市消防団
所 在 地	栃木県鹿沼市
代 表 者 (団体での職名)	団長 伊藤 金治 <small>いとう きんじ</small>
功 績 の 概 要	<p>鹿沼市消防団は、令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり延べ967名が出動し、降り続く豪雨と、市内複数ヶ所で河川が決壊や溢水するという過酷な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民等の避難誘導、交通規制、人命救助や安否確認を行い、被害の軽減に多大なる貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	おやまししょうぼうだん 小山市消防団
所 在 地	栃木県小山市
代 表 者 (団体での職名)	団長 いなば しげる 稲葉 茂
功 績 の 概 要	<p>小山市消防団は、令和元年東日本台風に際し、10月12日から13日までの2日間にわたり、延べ1,498名が出動した。市内では大雨が降り続くことにより河川増水や内水被害など、多くの住宅が床上及び床下浸水の被害が発生する危険な状況の中、住民の避難誘導、水防活動及び人命救助活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	みぶまちしょうぼうだん 壬生町消防団
所 在 地	栃木県下都賀郡壬生町
代 表 者 (団体での職名)	団長 関本 和夫 ^{せきもと} ^{かずお}
功 績 の 概 要	<p>壬生町消防団は、令和元年東日本台風に際し、延べ182名が出動し、降り続く豪雨の中、昼夜にわたり水防活動を行い、人員救助や堤防の決壊を防ぐなど、自らの命の危険を顧みず果敢に活動したその功績は誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	とみおかししょうぼうだん 富岡市消防団
所 在 地	群馬県富岡市
代 表 者 (団体での職名)	団長 ささき しん 佐々木 伸
功 績 の 概 要	<p>富岡市消防団は、令和元年東日本台風に際し、事前の土のう作成や通過中に道路・住居への土のう設置を行い、通過中の危険区域について住民の避難誘導や広報も行った。通過中や通過後の河川水位や被害状況の情報収集も行った。土砂災害時には行方不明者捜索に当たった。台風通過後の被災地域において泥・土砂排除、がれき・ごみ撤去等の災害復旧を行った。</p> <p>以上の自らの命の危険を顧みず防災・復旧活動に従事した功績は誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ひきこういきしちょうそんけんくみあいひがしまつやましようぼうだん 比企広域市町村圏組合東松山消防団
所 在 地	埼玉県東松山市
代 表 者 (団体での職名)	団長 あらい よしのぶ 新井 芳信
功 績 の 概 要	<p>東松山消防団は、令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ110名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、積土嚢の水防工法により漏水等の被害を未然に防いだ。</p> <p>また、東松山市内の河川（都幾川、越辺川、新江川）の数か所が決壊し大きな被害をもたらした際に消防団が集結し、消防署と協力して床上浸水により避難を余儀なくしていた住民をボートにより救助し、消防団車両にて避難所へ避難させた。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	さかどしすいぼうだん 坂戸市水防団
所 在 地	埼玉県坂戸市
代 表 者 (団体での職名)	団長 おおさわ まさる 大澤 勝
功 績 の 概 要	<p>坂戸市水防団は、令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり、延べ332名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、積み土のうの水防工法により浸水等による被害を未然に防いだ。</p> <p>また、市との覚書に基づき、冠水した道路の通行止めを行い、車の進入を防ぎ、被害の軽減に繋がった。この他、市の避難情報に伴い、市民への広報活動や避難誘導を実施し、浸水による逃げ遅れた市民の救助活動の支援を行い、一人として人的被害を出さず、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ちょうふししょうぼうだん 調布市消防団
所 在 地	東京都調布市
代 表 者 (団体での職名)	団長 おつ ひろひこ 小津 浩彦
功 績 の 概 要	<p>調布市消防団は、令和元年東日本台風に際し、2日間にわたり、延べ550名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、避難勧告発令に伴う周辺住民への広報活動、住民の避難誘導、人命救助活動等の水防活動を行い、平素の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	かわさきしたかつしょうぼうだん 川崎市高津消防団
所 在 地	神奈川県川崎市高津区
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>もちだ</small> 持田 <small>みのる</small> 稔
功 績 の 概 要	<p>川崎市高津消防団は、令和元年東日本台風に際し、川崎市高津区が記録的な大雨により甚大な被害に見舞われ、区内の1,000軒以上で床上・床下浸水が発生し、多数の住民が避難を余儀なくされるなか、団長の判断により、消防団員68名が参集し、住民が時期を失することなく避難するよう個別訪問による避難広報を実施したほか、平瀬川からの浸水防ぎょ活動、浸水地域の排水作業、避難所への物資の搬送、倒木の撤去活動を行った。</p> <p>また、台風通過後は3日間にわたり、浸水地域の排水活動及び2次災害防止のための側溝の汚泥除去活動を行った。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	かわさきしなかはらしょうぼうだん 川崎市中原消防団
所 在 地	神奈川県川崎市中原区
代 表 者 (団体での職名)	団長 ふせ ゆきお 布施 行雄
功 績 の 概 要	<p>川崎市中原消防団は、令和元年東日本台風に際し、川崎市中原区が甚大な被害に見舞われ、区内の数か所で道路冠水し、住民が避難困難に陥る等、混迷を極めるなか、団長の判断により、消防団本部室及び各器具置場へ91名の団員が参集し、住民への広報活動、避難誘導、土嚢積み、排水作業及び危険の排除を行った。</p> <p>また、10月20日までの約1週間において、被災した地域に団員が参集し、道路清掃活動を行う等、延べ329名の消防団員が支援活動を行った。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ながのししょうぼうだん 長野市消防団
所 在 地	長野県長野市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>なかむら</small> 中村 <small>しゅういち</small> 庄市
功 績 の 概 要	<p>長野市消防団は、令和元年東日本台風に際し、特別警報が発表され、避難指示・勧告が発令されてから、地域住民の避難所の安全管理、避難誘導を実施した。内水の氾濫時は、積み土のう工法を実施し、住宅への浸水対策を施した。千曲川の水位が上昇し、越水の恐れがあったため、車両による避難の広報、半鐘を叩き、住民への避難を促した。堤防が決壊し、逃げ遅れた住民を常備消防と共にボートで救出活動をするなど、地域の水防に貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	なかのししょうぼうだん 中野市消防団
所 在 地	長野県中野市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>こすげ</small> 小菅 <small>かずしげ</small> 和重
功 績 の 概 要	<p>中野市消防団は、令和元年東日本台風に際し、5日間にわたり、延べ1,092人を動員し、千曲川の各樋門等の閉鎖による内水被害を防ぐための排水作業や、越水による浸水を防ぐための土のう積みなどの活動のほか、河川の巡視及び住民への避難勧告や避難指示の発令による避難の広報や誘導、更に避難行動要支援者への避難確認と避難補助を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	い い や ま し し ょ う ぼ う だ ん 飯 山 市 消 防 団
所 在 地	長 野 県 飯 山 市
代 表 者 (団 体 で の 職 名)	団 長 <small>で さ わ</small> 出 澤 <small>し げ き</small> 重 樹
功 績 の 概 要	<p>飯山市消防団は、令和元年東日本台風に際し、5日間にわたり延べ908名が出動し、雨が降り続く中、また河川が増水し続けるという危険な中、警戒活動、土のう積み、排水活動を実施し被害を未然に防いだ。</p> <p>また、河川氾濫が発生した箇所については住民の避難誘導、ボートによる安否確認および救助活動の水防活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ちくまししょうぼうだん 千曲市消防団
所 在 地	長野県千曲市
代 表 者 (団体での職名)	団長 たけい いくろう 武井 郁郎
功 績 の 概 要	<p>千曲市消防団は、令和元年東日本台風に際し、3日間にわたり、延べ943名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、土嚢積み工や月の輪工等の水防工法により越水、漏水等による被害を未然に防いだ。更にはポンプによる排水作業により浸水被害の軽減に努めた。</p> <p>この他、住民の避難誘導、人命救助活動等の水防活動を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁・国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	とうみししょうぼうだん 東御市消防団
所 在 地	長野県東御市
代 表 者 (団体での職名)	団長 まちだ よしひこ 町田 佳彦
功 績 の 概 要	<p>東御市消防団は、令和元年東日本台風に際し、3日間で、延べ749名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視や土のう作成・搬出・設置を行い、漏水等による被害を最小限に食い止めた。</p> <p>また、市内の主要な橋が2カ所崩落、帝石パイプラインのガスパイプの破損のため交通整理や付近住民の避難誘導を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	さくほまちしょうぼうだん 佐久穂町消防団
所 在 地	長野県南佐久郡佐久穂町
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>あおき なるみ</small> 青木 成実
功 績 の 概 要	<p>佐久穂町消防団は、令和元年東日本台風に際し、警報発令後から順次それぞれの管轄地域の巡回を開始し、千曲川及びその支流河川の水量の把握や災害の発生状況の把握に努め、広域的かつ迅速な情報収集に寄与した。</p> <p>また、警戒レベル3の発令以降は、消防団が作成した「災害時住民支えあいマップ」を活用しながら高齢者等の避難誘導を行い、死者・行方不明者を一人も出すことなく住民の安全確保に尽力した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	かわかみむらしょうぼうだん 川上村消防団
所 在 地	長野県南佐久郡川上村
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>よしざわ</small> 吉澤 <small>せつお</small> 節夫
功 績 の 概 要	<p>川上村消防団は、令和元年東日本台風に際し、延べ456人が住民の避難誘導や土のう積みによる水防活動、河川の警戒巡視などにあたり、被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>また、災害後には、土砂の撤去や地区の道路に堆積した泥やごみの排除など、災害からの復旧に対しても多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	さかえむらしょうぼうだん 栄村消防団
所 在 地	長野県下水内郡栄村
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>ゆしな ひろし</small> 油科 浩
功 績 の 概 要	<p>栄村消防団は、令和元年東日本台風に際し、河川氾濫、土砂災害、停電等の被害に見舞われた住民の生命・財産を護るため、避難勧告が発令された地域の住民を迅速かつ的確に避難所まで誘導した。特に災害発生の恐れが高い地区では、消防団が全戸を訪問して逃げ遅れがないか最終確認を行い、人命保護に万全を期した。</p> <p>また、長時間降り続いた大雨により河川や用水路の氾濫が発生したが、土嚢積みにより地区内や建物への浸水を最小限に防いだことに加え、千曲川が氾濫し浸水被害があった地区では、消防ポンプ10台で8時間に渡り懸命な排水作業を行い、被害の拡大を防いだ。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	う え だ し し ょ う ぼ う だ ん 上 田 市 消 防 団
所 在 地	長 野 県 上 田 市
代 表 者 (団体での職名)	団 長 <small>やじま あきのり</small> 矢 島 昭 徳
功 績 の 概 要	<p>上田市消防団は、令和元年東日本台風に際し、4日間にわたり発生した災害に延べ1,605名が出動した。夜間の視界が制限される危険極まる状態の中、河川警戒、水防活動、道路啓開作業を行った。</p> <p>また、避難指示の発令された地区においては、住民へ懸命な広報活動と説得を続け、迅速かつ的確な避難誘導を行った。</p> <p>台風上陸後以降は、上田市の広範囲に土砂崩落箇所、浸水被害、風倒木被害が明らかとなり、その処置を行った。</p> <p>このことは、平素からの訓練成果と培った知識、技術を生かし、二次災害を発生させることなく、上田市全体の被害軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	さくししょうぼうだん 佐久市消防団
所 在 地	長野県佐久市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>もりずみ たけお</small> 森泉 武夫
功 績 の 概 要	<p>佐久市消防団は、令和元年東日本台風に際し、時間最大雨量57mmという非常に激しい雨により、河川や用水が氾濫し非常に危険で困難な状況の中、土のう積みをはじめとする水防活動を昼夜にわたり実施するとともに、危険区域の住民の避難誘導や二次災害防止活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p> <p>台風通過後も、前線の影響により降雨に見舞われたが、被害を受けた河川等の警戒や新たな水害に対応し、その水防活動は27日まで行われ、合計16日間の長期に及んだ。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	すざかししょうぼうだん 須坂市消防団
所 在 地	長野県須坂市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>なかむら</small> 中村 <small>きみひこ</small> 公彦
功 績 の 概 要	<p>須坂市消防団は、令和元年東日本台風に際し、延べ952名が出動し、豪雨が降り続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視及び積載車による広報活動を行うと共に、土嚢積み等の水防工法を実施した。</p> <p>また、千曲川の水位上昇に伴い、千曲川河川事務所の指示で相之島排水機場の運転を停止したことで八木沢川の排水ができず、浸水地域において孤立した住民84名をゴムボートによる人命救助を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	警 察 庁
ふ り が な 名 称	ふくしまけんけいさつほんぶ 福島県警察本部
所 在 地	福島県福島市
代 表 者 (団体での職名)	警察本部長 <small>わた かつる</small> 和田 薫
功 績 の 概 要	<p>福島県警察は、関東甲信地方や東北地方等で記録的な大雨となった令和元年東日本台風に伴う災害に際し、本部長を長とする災害警備本部（本部長以下約600人体制）を設置し、情報収集、被災住民の避難誘導、行方不明者の捜索活動等に当たるとともに、救出救助活動により水没家屋等から約430人を救出し、人的被害の拡大を防止した。</p> <p>また、各都県から派遣された広域緊急援助隊等に対して適切な受援を行い、救出救助、捜索活動等の支援を実施し、長期間にわたり間隙のない適切な災害警備活動を実施して、国民の安全確保と安心感の醸成に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	警 察 庁
ふ り が な 名 称	みやぎけんけいさつほんぶ 宮城県警察本部
所 在 地	宮城県仙台市青葉区
代 表 者 (団体での職名)	警察本部長 ちの けいたろう 千野 啓太郎
功 績 の 概 要	<p>宮城県警察は、関東甲信地方や東北地方等で記録的な大雨となった令和元年東日本台風に伴う災害に際し、本部長を長とする災害警備本部（本部長以下約1,500人体制）を設置し、情報収集、被災住民の避難誘導、行方不明者の捜索活動等に当たるとともに、救出救助活動により水没家屋等から約220人を救出し、人的被害の拡大を防止した。</p> <p>また、各道府県から派遣された広域緊急援助隊等に対して適切な受援を行い、救出救助、捜索活動等の支援を実施し、長期間にわたり間隙のない適切な災害警備活動を実施して、国民の安全確保と安心感の醸成に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	警 察 庁
ふ り が な 名 称	ながのけんけいさつほんぶ 長野県警察本部
所 在 地	長野県長野市
代 表 者 (団体での職名)	警察本部長 <small>やすだ ひろき</small> 安田 浩己
功 績 の 概 要	<p>長野県警察は、関東甲信地方や東北地方等で記録的な大雨となった令和元年東日本台風に伴う災害に際し、本部長を長とする災害警備本部（本部長以下約1,000人体制）を設置し、情報収集、被災住民の避難誘導、行方不明者の捜索活動等に当たるとともに、救出救助活動により水没家屋等から約260人を救出し、人的被害の拡大を防止した。</p> <p>また、各府県から派遣された広域緊急援助隊等に対して適切な受援を行い、救出救助、捜索活動等の支援を実施し、長期間にわたり間隙のない適切な災害警備活動を実施して、国民の安全確保と安心感の醸成に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	防 衛 省
ふ り が な 名 称	さいとうごうにんむぶたいおよびどうしえんぶたい 災統合任務部隊及び同支援部隊
所 在 地	東京都練馬区
代 表 者 (団体での職名)	陸上総隊司令官 陸将 よしだ よしひで 吉田 圭秀
功 績 の 概 要	<p>災統合任務部隊等の災害派遣活動は、令和元年東日本台風に際し、令和元年10月12日、宮城県知事からの災害派遣要請を皮切りに、11月30日、長野県知事からの撤収要請までの間、50日間継続して活動した。</p> <p>10月12日夜以降、各部隊は、災害派遣活動を開始した。10月13日、災害派遣の態勢を拡充するため、陸上総隊司令官を指揮官とする災統合任務部隊が組織され、最大12都県で活動を実施した。</p> <p>11月30日、全ての活動を終了した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ないかくふおきなわそうごうじむきょくきんきゅうさいがいたいさくはけんたい 内閣府沖縄総合事務局緊急災害対策派遣隊
所 在 地	沖縄県那覇市
代 表 者 (団体での職名)	隊長 <small>しんじょう</small> 新城 <small>はるのぶ</small> 晴伸
功 績 の 概 要	<p>内閣府沖縄総合事務局緊急災害対策派遣隊は、東日本を中心に広い範囲で記録的な暴風雨及び豪雨となった令和元年東日本台風及び10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、10人の緊急災害対策派遣隊を派遣した（令和元年10月21日～令和元年10月30日）。</p> <p>自治体所管施設の被害状況調査を実施し、その活動は、被災地の早期復旧に大きく貢献するとともに、被災自治体等から大きな信頼を得ることとなり、その功績は顕著であると認められる。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ちようせいぐんしこういきしちようそんけんくみあいしょうぼうだん 長生郡市広域市町村圏組合消防団
所 在 地	千葉県茂原市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>はせがわ ひでかず</small> 長谷川 秀一
功 績 の 概 要	<p>長生郡市広域市町村圏組合消防団は、令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、降り続く雨の中、氾濫が起きやすい管内の河川、主要道路の巡視を行い、早期に被災箇所の情報を対策本部へ周知し、二次災害の防止に努めた。</p> <p>この豪雨の影響で、河川が氾濫し行方不明者が発生。警察・自衛隊と協力し、目撃情報のあった河川の上流から下流と二手に分かれ、懸命な捜索活動の結果、行方不明者の発見に至った。</p> <p>雨が止んだ後も、住民の避難支援や冠水地の排水作業、道路や住居に入り込んだ土砂の撤去作業等、長時間に渡り献身的な活動をされたことは、称賛に値する。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こくりつけんきゅうかいはつほうじんどぼくけんきゅうじよきんきゅうさいがいたいさくほけんたい 国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊
所 在 地	茨城県つくば市
代 表 者 (団体での職名)	隊長 <small>みやたけ ひろあき</small> 宮武 裕昭
功 績 の 概 要	<p>国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊は、「令和元年8月の前線に伴う大雨」及び「令和元年東日本台風及び令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨」による災害に対応するために、5日間にわたり、延べ8名の専門家を派遣し、土砂崩れ、道路災害、堤防決壊の被災要因の解明や復旧等について技術指導を実施し、被災地の早期復旧に大きく貢献した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 称 名	こくどうつうしょうきんきゅうさいがいたいさくはけんたい 国土交通省緊急災害対策派遣隊
所 在 地	東京都千代田区
代 表 者 (団体での職名)	隊長 ひしだ 晃 菱田 晃
功 績 の 概 要	<p>国土交通省緊急災害対策派遣隊は、令和元年8月の前線に伴う大雨に際し、8月26日から9月20日の約1ヶ月にわたり活動し、全国からのべ1,651名が出動し、自治体所管施設の被害状況調査を実施した。激甚災害指定に係る所要時間の短縮に貢献するとともに、土砂の堆積状況の把握、撤去に向けた技術的支援や住まいの確保に関する技術的支援などの市町村支援を実施することにより、被災地の早期復旧に向けて多大なる貢献をした。</p> <p>令和元年房総半島台風に際し、9月6日から10月10日の1ヶ月以上にわたり活動し、全国からのべ1,237名が出動し、自治体所管施設の被害状況調査を実施した。住まいの確保に関する技術的支援などの市町村支援を実施することにより、被災地の早期復旧に向けて多大なる貢献をした。</p> <p>令和元年東日本台風及び令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、10月10日から12月27日の2ヶ月以上にわたり活動し、全国からのべ30,409名が出動し、自治体所管施設の被害状況調査を実施した。激甚災害指定に係る所要時間の短縮に貢献するとともに、土砂の堆積状況の把握、撤去に向けた技術的支援や住まいの確保に関する技術的支援などの市町村支援を実施することにより、被災地の早期復旧に向けて多大なる貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 称	<small>こくりつけんきゅうかいほつほうじんかいじょう・こうわん・こうくうぎじゅつけんきゅうじよ こうわんくうこうぎじゅつけんきゅうじよきんきゅうさいがいたいさくはけんたい</small> 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所緊急災害対策派遣隊
所 在 地	神奈川県横須賀市
代 表 者 (団体での職名)	隊長 <small>いなだ まさひろ</small> 稲田 雅裕
功 績 の 概 要	<p>国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所緊急災害対策派遣隊は、令和元年8月の前線に伴う大雨に際し、8月30日～31日に隊員2名を派遣し、高度な技術力をもって被災現場を調査し、調査結果を早々に国土交通本省及び九州地方整備局へ報告した。</p> <p>令和元年房総半島台風に際し、7名を9月10日、4名を9月14日に派遣し、高度な技術力をもって被災現場を調査し、調査結果を早々に国土交通本省及び関東地方整備局へ報告した。また、後に開催された技術検討委員会等に委員として参画し、技術的指導を行ったことにより、被災地の早期復旧に大きく貢献するとともに、被災自治体等から大きな信頼を得ることにつながった。</p> <p>令和元年東日本台風及び令和元年10月24日から26日にかけての低気圧等による大雨に際し、10月13日に緊急災害対策派遣隊2名を派遣し、高度な技術力をもって被災現場を調査し、調査結果を早々に国土交通本省、関東地方整備局及び横浜市へ報告した。また、復旧工事に当たっては技術指導を行ったことにより、被災地の早期復旧に大きく貢献するとともに、被災自治体等から大きな信頼を得ることにつながった。</p>